

平成25年度第4回千葉競輪場開催業務等包括委託審査委員会議事録要旨

- 1 日 時： 平成26年3月25日（火）午前10時～午前11時30分
- 2 場 所： 千葉競輪場4階多目的室
- 3 出席者： （委員）
森委員長、白土委員、山本委員、藤本委員
（事務局）
神谷経済部長、鏑木所長、時田所長補佐、齋藤主査、葛巻主任主事
（日本写真判定株式会社 以下JPF）
渡辺代表取締役、吉井本社包括担当部長、小宮事業長
荻原事業長代理、下村事業長代理、鈴木主任

4 議 題

- （1）包括業務委託の進捗状況モニタリングについて（1月～3月）
- （2）第3回委員会提案事項の報告について

5 会議経過

（森委員長）

議題1の包括業務委託の進捗状況モニタリングについて及び議題2の第3回委員会提案事項の報告について、JPFに説明を求める。

（包括業務委託の進捗状況モニタリングについて）

（JPFが配布資料に沿って説明）

（包括業務委託の進捗状況について）

- ・既存のお客様向けの施策として、メインスタンドの利用促進サービスを実施した。
- ・元競輪選手で現在人気のある山口幸二氏、地元の吉井秀仁氏、MCの相良舞氏の予想会を実施した。
- ・東出杯では、東出さんにちなんだクイズを実施した。
- ・ナイター場外開催における特観席の無料開放や、モノレールの千葉駅、千葉みなと駅で、「ナイター開催中」のチラシ配布や、「特観席が無料」とPRした。
- ・ナイター場外開催時は、従事員の業務拡大となる、特観席での飲食物の販売を実施した。
- ・イベント、ファンサービスとして、選手会の協力により、東出さんの自転車などを展示した。

- ・未確定車券抽選会やグルメフード移動販売車の設置、地元のミニ物産展やこども縁日、地元選手のトークショー、ご当地キャラクターショーを実施した。
- ・ご当地キャラクターショーは、千葉県や八千代市など、各地方公共団体の協力により、チーバくん、モノちゃん、やっち、ライモンくん「ゆるキャラ祭り」と称した。
- ・新規お客様向けの施策として、競輪のビギナーズスクールを実施した。自転車クラブや自転車大会の参加者に車券を購入してもらう目的。
- ・新しい試みとして、サテライト市原から体験ツアーとして、本場開催時にメインスタンド4階に招き、車券購入について解説した。
- ・競輪体験ツアーは千葉市の広報で募集して、申込者も増加傾向にある。
- ・千葉サイクルクラブのフェイスブックホームページを開設した。

(売上報告、事業計画進捗報告について)

- ・本場開催の年間の車券売上額は、121億8,990万3,000円。

(ネクストステップについて)

- ・会員制ラウンジのVIPルームは、メインスタンド4階ロイヤルルームの横に設置して、4月上旬から運用開始する予定。
- ・インターネット投票、電話投票対策としては、キャッシュバックキャンペーンを継続する予定。また、千葉市の特産品などのプレゼントキャンペーンも実施する予定。
- ・競輪女子会の開催について、千葉市集客観光課の協力で女性層の獲得を目指す。内容は、メイクアップアーティストを招き、勝利を導くメイクアップ講座の開催。車券の買い方指南。「楽しい競輪女子会」を企画している。
- ・無料送迎バスの現在の発着口は千葉駅東口。渋滞が発生しやすく、ダイヤの乱れが生じやすい。事故リスクも高いので、来年度に向けて改善を検討する。
- ・第2回自転車レース、弱虫ペダルカップを開催する。4月20日午前8時開始予定。
- ・千葉サイクルクラブ会員数が、15名から19名に増えた。
- ・アスリート支援、スポーツ施設の有効利用として、オリンピック、パラリンピックの選手を千葉から輩出するために、JPFでは次年度からトレーニング用機器等の練習環境の提供などで、選手をサポートしていきたい。

(第3回委員会提案事項の報告について)

- ・ナイター場外開催時の集客向上について、モノレール主要駅である千葉駅、千葉みなと駅でチラシを配布した。
- ・ナイター場外開催時に、お客様から、「飲食店が閉まって食べるものが無い」との意見を受けて、JPFが用意した軽食のワゴン販売を実施した。

(森委員長)

事務局にモニタリング結果について説明を求める。

(事務局 葛巻主任主事)

- ・受託者から提出のあった平成25年度開催事業実施計画にもとづき計画通り事業を実施していることを確認した。
- ・開催ごとに、1月～3月の開催業務実施計画書及び開催業務実施報告書の提出を受けて、市営競輪の開催業務について検査を行い、実施計画通り開催業務を良好に遂行していることを評価した。

(白土委員)

次年度に向けて売上と来場者数を伸ばしたい。車券売上を上げるために、ナイター場外開催の対策を実施している。モノレール駅などでのPRの結果はどうだったのか。

(事務局 楠木所長)

- ・ナイター開催の日程については、ナイター開催だけだと夜にお客さんが来ないため、昼間の場外開催からナイター場外開催につなげる形で考えている。

(白土委員)

軌道に乗るまでは場外開催を増やして頂くことが有効だと考える。ナイター場外開催時の飲食についての話があったが、インターネットで購入せずにわざわざ千葉競輪場に来て、ナイターの車券を購入してくれるお客様は、競輪場の雰囲気がお好きなんだと思う。来場者にもっと快適に購入してもらうことがベストだと思う。できる範囲で快適な空間を作ってもらいたい。

入場者が少ないが、千葉競輪場の車券売場は非常に広い。昼間も含めて集約したらどうか。逆に賑わいにつながる可能性もある。お客様が増えたら売場面積を広げる。効率化に繋がるのではないかな。

第2回自転車レース、弱虫ペダルカップということで、新聞でも大きく取り上げられていた。選手会の協力はあるのか。

(J P F)

- ・前は、選手会の協力で模擬レースを実施した。今回も選手会と協議している。

(白土委員)

来場したお客様にプロの選手の魅力を感じてもらい、応援に来てもらう。上手くつながればよい。ガールズでは成功例がある。地元でのイベントに頻繁に出て、お客様と顔なじみになり、その選手が出る開催だとお知らせすると、友達も含めて応援団が来場するようになった。

(藤本委員)

非開催日に、女性向けにイベントや講座を開催したらどうか。競輪場で写真展を開催するなど。

(J P F)

・女性の来場者をカウントしていないが、自転車クラブや女性をターゲットにした縁日の企画などで、女性を含む親子連れが来場した。女性に対するアプローチを始めているので、来場者は増えていると感じる。今後、女性をターゲットにした競輪女子会などの企画も地域に協力してもらい、集客向上を図る。

(山本委員)

千葉県内の高額所得者を対象にどうやって囲い込みをするのか。どのくらいの日数と人数を考えているのか。

(J P F)

・高額購入者をV I C（競輪に関わる電話投票の情報システムの開発と運用行う車両情報センター）のデータから検索して、千葉県内在住の高額金購入者に対するアプローチを検討中。千葉競輪場の本場開催時のキャッシュバックキャンペーンと連動させてお客様にアプローチすることも有効だと考えている。ロイヤルルームの利用者様の中で、場外開催時にも利用したいという意見もあるので、有料席への来場者に対するサービス向上策にも取り組む予定。

(山本委員)

V I PルームはGⅢ以上の開催時に開くのか。

(J P F)

・検討中。F I 決勝時のオープンも検討している。

(山本委員)

V I Pルームには何人入れるのか。

(J P F)

・30人位入れる部屋だが、余裕を持たせて10～15名が入れる部屋とする予定。

(森委員長)

皆様から頂いたご意見等につきましては、J P Fが検討して、反映できるところは反映する。

(神谷経済部長)

千葉市としては、オリンピックもちろん、パラリンピックの選手育成も支援する方

針になっている。練習設備で提供できるものは情報収集するとの強い意向が示されている。対象の選手がいれば、情報の提供をお願いします。

(森委員長)

了承。